

芦屋市 改革中

芦屋市議会議員

大原 ゆうき

活動報告

39歳

大原ゆうきプロフィール

- 1984年2月8日生まれ、B型
- 1990年3月 芦屋市立伊勢幼稚園 卒園
- 1996年3月 シドニー日本人学校 卒業
- 1999年3月 関西学院中学部 卒業
- 2002年3月 関西学院高等部 卒業
- 2006年3月 関西学院大学 経済学部 卒業
- 2006年4月 株式会社経営情報センター 入社
(2016年1月 退社)
- 2015年4月 芦屋市議会議員選挙 初当選
- 2019年4月 芦屋市議会議員選挙当選 (2期目)



ブログにて
活動報告更新中!

大原ゆうきが議会で 提案してきたこと

議員には、市の一般事務を自由に質すことができる一般質問という権利が任期中に12回与えられています。当然のことながら、全ての

機会において一般質問を実施し、様々なことを提案、問題提起してきました。今後も引き続き、様々な角度からの提案を進めます。

行政改革に関する質問

1. 業務効率化を目的とした取り組みについて (2019年9月定例会一般質問)

- ①テレワークやフレックス勤務の制度化
- ②フリーアドレスやグループアドレスの導入

💡 質問の結果 具体的に動いたこと

テレワークやフレックス勤務についてはコロナ禍の影響もあり、制度化済み。フリーアドレスの導入による執務スペースの省スペース化については新行財政改革基本計画にて、2025年までの実施が計画された。

2. 新公会計制度による財務諸表の活用について (2019年12月定例会一般質問)

3. 業務量の可視化による業務改善について (2020年9月定例会一般質問)

4. 内部統制制度の義務化を見据えた取り組みについて (2020年12月定例会一般質問)

💡 質問の結果 具体的に動いたこと

2022年11月に『芦屋市内部統制基本方針』が策定され、2023年度より地方自治法第150条第2項の規定に基づく内部統制が執り行われることに。同法では、都道府県・政令市の実施は必須。その他の地方自治体の実施は努力目標として位置づけられており、芦屋市の決定は一般市の中では先進的取り組み。

5. 「学校現場における業務改善加速事業」に関する今後の取り組みと、市長部局へのフィードバックについて (2020年12月定例会一般質問)

6. デジタルトランスフォーメーションに対する取り組みについて (2021年6月定例会一般質問)

7. 時間外勤務の縮減に対する取り組みについて (2021年12月定例会一般質問)

歳入確保に関する質問

1. 創業支援策の強化について (2019年6月定例会一般質問)

- ① 起業コンテストの開催
- ② 既存補助制度の周知



2. ネーミングライツ売買を活用した財源確保について (2019年6月定例会一般質問)

質問の結果 具体的に動いたこと

2022年にネーミングライツパートナーとの契約が締結され、2022年4月から5年間、ルナ・ホールの愛称が変更し、5年間で1500万円の歳入増に繋がる。

3. 特定不妊治療の支援による合計特殊出生率の向上について (2019年9月定例会一般質問)

- ① 特定不妊治療費助成制度の拡充について
- ② 不妊治療への理解を促す取り組みについて

4. ガバメントクラウドファンディングの活用について (2020年6月定例会一般質問)

質問の結果 具体的に動いたこと

新行財政改革基本計画にて、2025年までの実施が計画された。

5. 人口の社会増減についての分析及び流入促進のための取り組みについて (2020年9月定例会一般質問)

6. 人口流入策の更なる向上について (2022年12月定例会一般質問)

7. 合計特殊出生率が低いことに対する取り組みについて (2022年12月定例会一般質問) 課題解決のための多子育児に対する支援の強化

歳出削減に関する質問

1. SIBの導入を契機とした補助金制度の見直しについて (2022年6月定例会一般質問)

2. 高齢者バス運賃助成制度の今後の方向性について (2022年9月定例会一般質問)

教育に関する質問

1. 新学習指導要領の導入について (2019年12月定例会一般質問)

2. オンライン授業の方向性について (2020年6月定例会一般質問)



その他生活に関する質問

1. 受動喫煙対策と市民マナー条例の連携について (2019年9月定例会一般質問)

2. インターネットによる行政と市民の交流について (2019年12月定例会一般質問)

3. ビッグデータを活用した交通安全対策について (2021年9月定例会一般質問)

4. ごみステーションの適正利用について (2021年9月定例会一般質問)

5. 新型コロナウイルスワクチン接種における副反応に対する取扱いについて (2021年12月定例会一般質問)

6. 野良猫に対する対応の強化について (2022年6月定例会一般質問)

7. 市民マナー条例の効果を上げる取り組みについて (2022年9月定例会一般質問)

議会改革に関すること

行政に対するアプローチについては、最終的には市長の判断と職員の努力が必要となります。議員ができることは、あくまで「働きかけ」です。しかし、議会改革は自分たちのことであり、自分たちの考えひとつで進めることが可能です。

小さなことでも改善したいとの思いで様々な提案をしてきました。議会の運用等を変更する際には全会一致が原則であるため、今期成立させられた件数は多くありませんが、今後も引き続き、議会改革に資する提案を続けます。

✓ 13か月間の議員報酬の削減

コロナ禍による市民への影響および市の歳出増を鑑み、令和4年3月定例会において令和4年4月1日～令和5年4月30日までの間、議員報酬の5%を削減する議案を提出。採決の結果、全会一致で可決。議会全体で約1145万円の削減効果を生み出す結果となり、議員1人分の歳費削減と二アリーな効果となった。

✓ 議員の行政視察旅費を減額

政務活動費マニュアルのあり方を見直す「政務活動費あり方検討会議」において、行政視察に要する旅費にて例年50%近い不用額が生じている旨を指摘し、減額を提案。協議の結果、議員1人あたり年額20万円の予算が組まれているところ、5万円を減額することに決定。新年度からは年間で105万円の削減効果となる。

✓ 議会運営委員会の会議録をネット公開に

議会基本条例の妥当性と有効性を検証する「議会基本条例検証会議」において、議会運営委員会会議録のインターネット公開を提案。協議を進めた結果、会議録が電子データで残されている平成25年以降の会議録をインターネット公開することが決定。(今年度中に実施予定)

✓ 委員会におけるお茶の提供を廃止し、セルフに

議員が委員会に出席する際には、職員が淹れたお茶が提供されていた。職員の本来業務とは異なる「お茶出し業務」のために手が取られていた現状を鑑み、委員会におけるお茶出しの廃止を提案。協議の結果、お茶が必要な委員はセルフで汲む形式に変更。